

R5年度放課後等デイサービスまかまか自己評価(公表)

公開日：令和6年 2月 13日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			活動内容によって指定場所を作り、個別活動やグループ活動等と同じ時間帯でも行えるようにしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%			基本人員、加配人員ともに適正な人数を当てている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	20%	40%	40%	所々、段差があり必要に応じて改善していきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	60%	40%		毎日、掃除・消毒を行い配慮している。建物は古い。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	60%	40%		職場環境について、必要なものなどその都度確認し、改善する努力をしている。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	100%			毎年一回実施している。
	⑦	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、その結果による支援の質の評価及び改善内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80%	20%		行っている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	40%	20%	40%	実施していない。新入社員等の入社があった際に事業所の働きやすさ、印象等を積極的に聞くようにしている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			実施している。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80%	20%		
	⑫	支援計画には、ガイドラインの提供すべき支援の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で支援内容から子どもの支援に必要な支援が選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%			
	⑬	各支援計画に沿った支援が行われているか	80%	20%		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			実施している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	100%			平日は放課後のリズム作りを中心に行っているが、休業日を中心に様々な経験ができるようにしている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成しているか	100%			状況に合わせて作成している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			実施している。
	⑱	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	60%	20%	20%	勤務時間がバラバラなため、翌日のミーティングでまとめて話している。

R5年度放課後等デイサービスまかまか自己評価(公表)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑱ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、各支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			定期的に話している。
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	20		児発管が参加している。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	60%	40%		必要時行う。
	㉓ 学校等との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			
	㉔ 医療的ケアが必要な子どもを支援している場合は、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等との連携、及び子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	40%	60%		現在いない。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、小学校や特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		100%		現在対象児童がいないが、状況に応じ努力していきたい。
	㉖ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	40%	40%	20	対象児童がいる場合行う予定。(現在はいい)
	㉗ 他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40%	40%	20%	地域還元研修等に参加している。
	㉘ 保育所・認定こども園等や放課後児童クラブ等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		60%	40%	現状なかなか難しい。
	㉙ (自立支援)協議会子ども部会や子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	20%	80%		必要時代表が参加する。
	㉚ 日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			連絡帳の他、送迎時の報告やショートメールを活用している。
	㉛ 保護者の対応力の改善を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	20%	80%		余力がないため、地域開催の勉強会などの情報を発信していく。
保護者への説明責任等	㉜ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80%	20%		契約時行っている。
	㉝ ガイドラインの「提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された各支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか	80%	20%		契約時行っている。
	㉞ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			定期的面談時だけでなく、必要時に相談してもらえよう声掛けしている。
	㉟ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		80%	20%	交流の機会が増やせるよう検討していく。
	㊱ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			対応マニュアルに沿って必要時に迅速に対応できるようにしている。
	㊲ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	80%	20%		二か月に一回のペースで発行し、子ども達の様子を発信している。今後、ブログ等の活用も検討中。

R5年度放課後等デイサービスまかまか自己評価(公表)

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③⑧ 個人情報に十分注意しているか	100%			
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	20%		ご家族との情報交換を密に行い対応している。
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか		80%	20%	現在は行っていない。
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60%	40%		周知までは至っていない。
	④② 非常災害の発生に備え、定期的避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	80%	20%		火災や地震だけでなく、水害、不審者などの対応についても訓練していく。
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状態を確認しているか	100%			
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	60%	40%		対象児童がいない。必要時行う。
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	20%		
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			

【放課後等デイサービスについての課題と今後の目標】

自己評価については全員に行ったほか、保護者からの支援評価結果をもとに現在の課題と今後の目標について全職員で話し合いを行いました。内容については以下の通りです。

◎環境・体制整備について

- ・職員の配置などについては年度初めの会報などを活用して知っていただく機会を引き続き作っていく。
- ・活動場所としては、おむね整備はされているものの改善したい箇所はある。安心して活動できるように必要個所の整備を行いながら運営していきたい。

◎適切な支援の提供について

- ・地域の学校等の子供たちとの関わりについては、公共の施設を利用した際などに関わり方を学べるように支援したい。
- ・職員同士の情報共有ツールとしてミーティングの他、グループLINEを活用し、細やかに対応出来るようにしたい。

◎保護者への説明等

- ・今年度はすまいるは一とと合同で参観日を開催したが、まかまかでの活動の様子なども見ていただきながら保護者同士でも交流できる機会を増やしていきたい。
- ・情報の発信としては、児童の活動予定やその様子を気軽に見ていただけるように工夫していきたい。

◎非常時の対応について

- ・来年度から非常災害時、及び感染症についてのマニュアルを一新するため、再度職員と保護者の方々に周知していく。

◎満足度について

- ・今後も安心してご利用いただけるよう努力していきたい。